# おぐら山荘便り

2019年12月1日（日）発行

## 秋恒例のお楽しみ♪ さんま炭火焼きまつり

**おぐら山荘では、季節を楽しむイベントを企画してご利用者の皆様と一緒に楽しんでいます。今号は、秋の恒例となりました さんま炭火焼きまつり、干し柿作り、11月の壁飾りの話題などをお届けします。**

▲今年も新鮮なさんまが届きました！貴重な旬のさんまを炭火で焼いていきます。

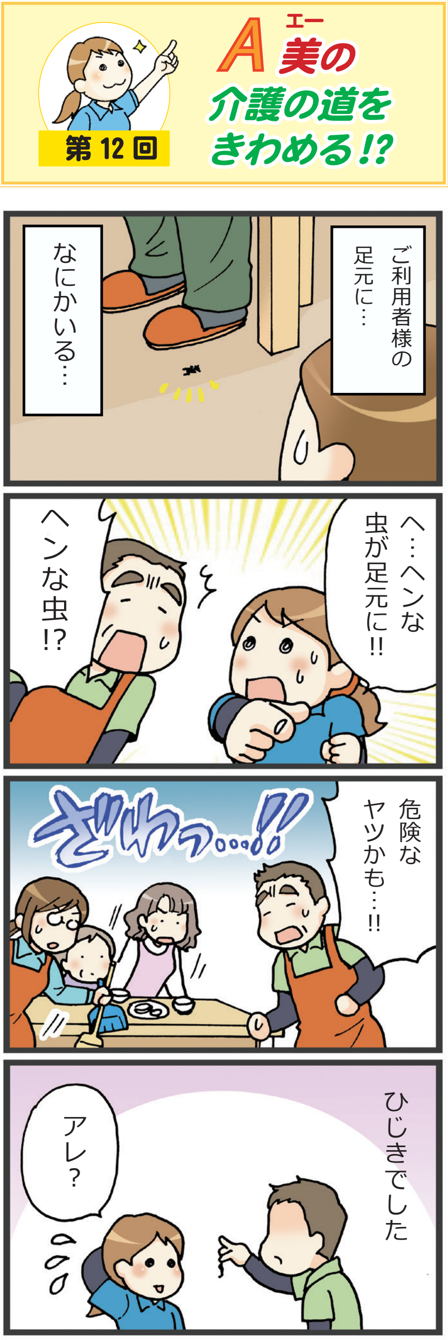
毎年恒例となってきました、さんまの炭火焼きまつりを行いました。旬のさんまをいつもとは違う形で食べて頂こうと、この時期行っている行事です。

お昼ご飯に焼きたてのさんまを提供できるように、スタッフがバーベキューセットや、炭おこしなど準備を進めていきました。

いよいよさんまを焼く時がやってきました。数人のご利用者様に外でさんまを焼くお手伝をお願いし、その他の皆様には室内からその様子を観賞していただきました。かすかに室内に入ってくる炭のにおいに食欲も沸き立ちます。

焼けたさんまをお膳に盛り、暖かいうちに食べていただきます。目の前で焼いていたさんまを召し上がり「やっぱり、さんまは炭火焼きがおいしいね。」などの声が上がりました。以前は七輪で焼いていたことなど、昔話に花を咲かせるご利用者様もいらっしゃったようです。

その日の昼食は、皆さんいつもより早く食べ終わっていたようでした。




# 今年こそ美味しく！干し柿つくり

今年も、干し柿に挑戦しました。

昨年は寒暖差の関係などでうまく作れず、皆様と美味しく頂くことが出来なかったのですが、今年も知り合いの方よりたくさん頂いたので、再度挑戦することになりました。

▲手際よく皮をむき、紐で結んでいます。

まずは、女性のご利用者様中心に、柿の皮をむいていきます。皮をむいた後は、吊るしやすいようビニール紐で結んでいきます。干し柿にしやすいよう、枝を残してあったので、紐にも吊るしやすかったようです。干し柿を作るのは久しぶりという方もいらっしゃいましたが、楽しく取り組んでくださり、作業は瞬く間に終わってしまいました。

その後、スタッフが熱湯消毒をして、ご利用者様も見える所に吊るしました。

毎日、ご利用者様とビニール手袋をして手もみをして、美味しい干し柿になるように優しくお世話をして頂いてます。

今年こそは美味しい干し柿が完成するといいですね。

▲美味しい干し柿になりますように！

今月は、紅葉をイメージしたものを制作しました。

新聞紙を千切って模造紙に貼り、河原の岩を。お花紙の青や白を縦長に切って流れる川を表現。更に色紙で切った紅葉などが浮かべました。川の部分に錦鯉の絵を貼りこむと、周りの千代紙が額縁のように見える一枚の大きな絵画のようになりました。

糊を付けて紙を貼っていくのですが、作業を進めるうちに手についた糊に、新聞紙やお花紙がくっついてしまい、うまく貼りこむことができず苦戦していた姿も見られました。

今月はその他に、部屋の前の飾りもイチョウの葉を模した折り紙や千代紙を貼りこんで制作。ご利用者様も制作中は協力しながら楽しく作業が出来ていたようでした。

▲大判の見事なタペストリーが出来ました！